

もっと

近くの図書館へ 行ってみよう!

「1日20分読書」運動
～本がひらく わたしの未来～

子どもの読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことができないものです。

子どもにとって身近な存在である保護者が、積極的に読書に親しみ家族全員で本を読む習慣をもつことで子ども読書活動は進められます。



図書館では
このような
ことができます

- ・静かな環境でたくさんの本や新聞、雑誌を自由に読めます。
- ・本を借りられます。
- ・調べ物に役立つ本がたくさんあり、相談もできます。
- ・おはなし会などのイベントに参加できます。
- ・学習室(自習室)などを利用できます。 など

公立図書館

自由に本を借りることができます。
また、定期的にお話会やその他のイベントを行っています。読み聞かせについて書かれた本もあります。

その他、調べ物に役立つ本がたくさんあります。

鹿児島県には、2つの県立図書館（県立図書館、県立奄美図書館）と104の市町村立図書館・図書室があります。



幼稚園など図書室・コーナー

自由に絵本等を読んだり、読み聞かせ等に利用したりできます。



学校図書館

自由に本を借りることができます。また、図書委員が考えたイベントもあります。

その他、調べる活動では、たくさんの情報を集め、選択し、まとめる活動を行うことができます。



鹿児島県では「1日20分読書」運動を実施するとともに、「本がひらく わたしの未来」をキャッチフレーズに読書活動を推進しています。

「1日20分読書」運動とは、「全ての子どもが1日に少なくとも合計で20分程度の時間、読書に親しみましょう。」という運動です。



こんな時 図書館に聞いてみよう！

Q

読み聞かせをしたいけど、
どんな本を選んだらいいのかわかりません。

- A
- ・大型絵本や紙芝居などがあります。
 - ・役に立つブックリストがあります。
 - ・図書館の職員も相談に乗ります。

ブックリストはこちらから



おとな
大人になるまでに
これだけは読んでおきたい
にじいろのほん



じどうとしょ
児童図書
モデルリスト

Q

本を読みみたいけど、
困っていることがあります。
何か良い方法がありますか。

- A
- ・文字を大きくして読むことのできる拡大鏡を設置している図書館・室もあります。
 - ・文字の大きな大活字本があります。
 - ・音声で聞くことのできる本があります。
(デージー図書、オーディオブックなど)
 - ・分かりやすい言葉で書かれた本があります。(LLブック)
 - ・外国語で書かれた本もあります。
 - ・市町村によっては、移動図書館車もあります。

Q

電子図書館について、
教えてください。

- A
- 電子図書館は、図書館へ行かなくても、パソコンやスマートフォンなどで電子書籍を借りることができます。貸出期限が過ぎると、自動で返却されます。

鹿児島県内で、電子書籍の貸出ができる図書館は、次のとおりです。(貸出には、それぞれの貸出カード等が必要になります。)

【電子書籍導入市町村(令和6年12月現在)】

- ・鹿児島市
- ・阿久根市
- ・薩摩川内市
- ・志布志市
- ・鹿屋市



Q

近くの図書館に自分の読み
たい本がありませんでした。
あきらめるしかありませんか。

- A
- 近くの図書館に所蔵していない場合は、図書館どうして本の貸し借りができる場合があります。

★例えば★

近くの公立図書館に希望の本がなかったけど、県立図書館にはあった。

↓ そのような時は

近くの公立図書館に依頼して県立図書館の本を、取り寄せてもらうことができます。

ここから県立図書館、奄美図書館及び
県内全ての市町村の蔵書の検索ができます。



利用をする際、困ったことがあったら、職員・司書等に相談してください。

(県立図書館、県立奄美図書館、各市町村立図書館(室)、学校図書館、幼稚園・保育園等の図書室 等)



【お問合せ】県教育庁社会教育課生涯学習係 TEL 099-286-5336

Eメール e-shougai@pref.kagoshima.lg.jp

